

平成30年

上尾市教育委員会2月定例会
報告事項

報 告 名

（教育総務課）

報告事項 1	平成 29 年上尾市議会 12 月定例会について	1
--------	--------------------------	---

（スポーツ振興課）

報告事項 2	第 36 回上尾市民駅伝競走大会の結果について	2
--------	-------------------------	---

（学務課）

報告事項 3	平成 29 年度上尾市立小・中学校卒業証書授与式及び平方幼稚園修了証書授与式 市長祝辞及び教育委員会告辞予定者について	4
--------	--	---

報告事項 4	平成 30 年度上尾市立小・中学校入学式及び平方幼稚園 入園式教育委員会祝辞について	6
--------	---	---

報告事項 5	平成 30 年度の学校閉庁について	11
--------	-------------------	----

報告事項 6	キッズウィークの実施について	13
--------	----------------	----

（指導課）

報告事項 7	平成 30 年 1 月上尾市小・中学校いじめに関する状況調 査結果について	26
--------	--	----

報告事項 8	平成 29 年度第 2 回生徒指導に関する調査結果について	28
--------	-------------------------------	----

報告事項 9	平成 29 年度上尾市立小・中学校学力調査結果について	31
--------	-----------------------------	----

報告事項 10	上尾市学校運営協議会の設置について	37
---------	-------------------	----

（学校保健課）

報告事項 11	平成 29 年度インフルエンザ様疾患による学級閉鎖・短 縮授業等の状況について	39
---------	--	----

平成30年上尾市教育委員会2月定例会 報告事項1

所属名 教育総務部 教育総務課

件 名 平成29年上尾市議会12月定例会について																															
内 容 説 明 ◎ 会期 平成29年12月25日～平成30年1月16日（23日間） ◎ 市長提出議案（教育関連議案抜粋） ■ 議案第65号 平成29年度上尾市一般会計補正予算(第5号) 議決結果：賛成多数にて原案可決 ◇ 教育関係 歳出予算の補正額:13,284千円 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">〔9款 5項 社会教育費〕</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">13,284千円</td> </tr> </table> ◇ 繰越明許費 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="padding: 2px;">項</th> <th style="padding: 2px;">事業名</th> <th style="padding: 2px;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">5 社会教育費</td> <td style="padding: 2px;">公民館管理運営事業</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">13,284千円</td> </tr> </tbody> </table> ◇ 債務負担行為 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="padding: 2px;">事 項</th> <th style="padding: 2px;">限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">中学生海外派遣研修業務</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">10,850千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">小中学校ALT派遣業務</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">108,994千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">小学校管理業務</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">14,934千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">小学校コンピュータシステム保守業務</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">11,954千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">中学校管理業務</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">8,423千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">中学校コンピュータシステム保守業務</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">7,653千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">公民館管理業務</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">1,350千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">図書館巡回配送業務</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">5,420千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">図書館管理業務</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">741千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">中学校給食調理業務</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">216,713千円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">※期間は平成29年度から平成30年度まで</p>		〔9款 5項 社会教育費〕	13,284千円	項	事業名	金額	5 社会教育費	公民館管理運営事業	13,284千円	事 項	限度額	中学生海外派遣研修業務	10,850千円	小中学校ALT派遣業務	108,994千円	小学校管理業務	14,934千円	小学校コンピュータシステム保守業務	11,954千円	中学校管理業務	8,423千円	中学校コンピュータシステム保守業務	7,653千円	公民館管理業務	1,350千円	図書館巡回配送業務	5,420千円	図書館管理業務	741千円	中学校給食調理業務	216,713千円
〔9款 5項 社会教育費〕	13,284千円																														
項	事業名	金額																													
5 社会教育費	公民館管理運営事業	13,284千円																													
事 項	限度額																														
中学生海外派遣研修業務	10,850千円																														
小中学校ALT派遣業務	108,994千円																														
小学校管理業務	14,934千円																														
小学校コンピュータシステム保守業務	11,954千円																														
中学校管理業務	8,423千円																														
中学校コンピュータシステム保守業務	7,653千円																														
公民館管理業務	1,350千円																														
図書館巡回配送業務	5,420千円																														
図書館管理業務	741千円																														
中学校給食調理業務	216,713千円																														
◎ 市政に対する一般質問 別冊資料のとおり																															
添付資料 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	添付資料名 平成29年上尾市議会12月定例会 市政に対する一般質問（別冊）																														

平成30年上尾市教育委員会2月定例会 報告事項2

所属名 教育総務部 スポーツ振興課

件 名 第36回上尾市民駅伝競走大会の結果について	
内 容 説 明 第36回上尾市民駅伝競走大会を2月11日（日）に開催いたしました。 結果について、別添のとおり報告します。	
添付資料	添付資料名
<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	第36回上尾市民駅伝競走大会開催要項【3ページ】

第36回上尾市民駅伝競走大会結果について

期 日：平成30年2月11日(日)
会 場：上尾運動公園陸上競技場周辺コース

1 出走チーム・人数(補欠・監督除く)

種 別		チーム数	出走者数(人)
第1部	小学生男子の部(15.8km)・10区	89	844
第2部	小学生女子の部(15.8km)・10区	66	617
第3部	中学生男子の部(13.3km)・5区	23	115
第4部	中学生女子の部(13.3km)・5区	23	113
第5部	一般の部(13.3km)・5区	56	278
第6部	女子の部(13.3km)・5区	4	20
第7部	体協支部の部(13.3km)・5区	24	120
総 数		285	2,107

2 大会結果

【第1部】小学生男子の部

順位	チーム名	記録
第1位	芝川男子Aチーム	55'42"
第2位	原市小学校男子A	55'47"
第3位	大石小学校男子A	56'33"
第4位	東小男子Aチーム	57'13"
第5位	上平男子A	58'04"
第6位	大谷小男子Aチーム	58'23"
第20位	本宮市立本宮小学校	1:01'45"

【第2部】小学生女子の部

順位	チーム名	記録
第1位	原市小学校女子A	58'19"
第2位	大谷小女子Aチーム	59'18"
第3位	東小女子Aチーム	1:00'10"
第4位	富士見小学校女子A	1:00'59"
第5位	上尾小学校Aチーム	1:01'22"
第6位	大石小学校女子A	1:01'39"

【第3部】中学生男子の部

順位	チーム名	記録
第1位	上尾東中学校陸上部A	44'32"
第2位	上尾南中学校A	44'45"
第3位	大石中陸上部A	46'22"
第4位	もとみやRC中学男子	46'25"
第5位	上平中学校陸上部A	46'41"
第6位	大谷中陸上部	46'48"

【第4部】中学生女子の部

順位	チーム名	記録
第1位	上尾中学校A	50'28"
第2位	大石中陸上部A	51'54"
第3位	原市中びやむーズ	51'55"
第4位	西中陸上部A	53'21"
第5位	大谷中陸上部A	54'27"
第6位	上尾中学校B	55'25"

【第5部】一般の部

順位	チーム名	記録
第1位	もとみやRC一般男子	41'58"
第2位	Team YUIKA	47'21"
第3位	チームホームステイ	48'48"
第4位	HARAICHI	50'19"
第5位	芝川小おやじの会1号	50'53"
第6位	WHRT	51'04"

【第6部】女子の部

順位	チーム名	記録
第1位	上尾市陸上競技協会	57'49"
第2位	タンポポ☆若駒コラボ	59'21"
第3位	チーム崖つぶち	1:06'38"
第4位	チェックマン！！	1:12'34"

【第7部】体協支部の部

順位	チーム名	記録
第1位	大谷体協Aチーム	42'04"
第2位	大谷体協Eチーム	43'14"
第3位	上尾支部A	44'29"
第4位	原市体協Aチーム	45'50"
第5位	大石体協A	47'25"
第6位	原市体協Bチーム	49'19"

平成30年上尾市教育委員会2月定例会 報告事項3

所属名 学校教育部 学務課

件 名

平成29年度上尾市立小・中学校卒業証書授与式及び平方幼稚園
修了証書授与式 市長祝辞及び教育委員会告辞予定者について

内 容 説 明

平成29年度上尾市立小・中学校卒業証書授与式及び平方幼稚園修了証書授
与式市長祝辞及び教育委員会告辞予定者について報告するものです。

※祝辞及び告辞予定者は別紙のとおり

添付資料

添付資料名

有 ・ 無

平成29年度上尾市立小・中学校卒業証書授与式及び平方幼稚園修了証書授与式市長
祝辞及び教育委員会告辞予定者名簿【5ページ】

平成29年度上尾市立小・中学校卒業証書授与式及び平方幼稚園修了証書授与式
市長祝辞及び教育委員会告辞予定者名簿

★小学校 平成30年3月23日(金)実施 平成30年2月5日現在

NO	学 校 名	来賓入場時刻	教 育 委 員 会		市 長 部 局	
1	上尾小学校	午前9時10分	松澤 義章	学校教育部学校保健課長	猿田 善勝	都市整備部長
2	中央小学校	午前9時20分	小宮山克巳	教育総務部生涯学習課長	柳 真司	子ども未来部長
3	大谷小学校	午前9時00分	鈴木 利男	教育総務部主席副参事兼図書館副館長	畠山 稔	市長
4	平方小学校	午前9時25分	佐々木智美	学校教育部学務課主幹(教)	吉澤 彰一	総務部長
5	大石小学校	午前9時15分	石川 孝之	学校教育部次長	駒崎 久志	行政経営部長
6	原市小学校	午前9時15分	松本 壽男	学校教育部教育センター主幹	中島 英二郎	市長政策室長
7	上平小学校	午前9時15分	池野 和己	教育長	矢嶋 久司	議会事務局長
8	富士見小学校	午前9時05分	保坂 了	教育総務部長	小宮 成司	都市整備部参事兼次長
9	尾山台小学校	午前9時20分	伊藤 潔	学校教育部副参事兼学務課長	須田 博和	行政経営部次長
10	大石小学校	午前9時15分	今泉 達也	学校教育部長	加藤 哲俊	監査委員事務局長
11	大石南小学校	午前9時15分	瀧沢 葉子	学校教育部副参事兼指導課長	本橋 宜臣	健康福祉部長
12	平方東小学校	午前9時20分	黒木美代子	教育総務部図書館長	栗野 昭夫	総務部参事兼次長
13	原市南小学校	午前9時15分	岡田 栄一	委員	田中 貞夫	上下水道部長
14	鴨川小学校	午前9時10分	鈴木 宏明	学校教育部副参事兼中学校給食共同調理場所長	石井 孝浩	市民生活部長
15	芝川小学校	午前9時20分	関 孝夫	教育総務部次長	山田 良平	選挙管理委員会事務局長
16	瓦葺小学校	午前9時20分	中野 住衣	委員	松本 孝治	健康福祉部次長
17	今泉小学校	午前9時10分	松本 秀之	学校教育部指導課主幹	馬橋 和裕	農業委員会事務局長
18	西小学校	午前9時25分	長谷川浩二	教育総務部スポーツ振興課長	山本 由起子	市長政策室参事兼次長
19	東町小学校	午前8時55分	荒井 正美	教育総務部教育総務課長	磯越 雄高	環境経済部長
20	平方北小学校	午前9時20分	細野 宏道	教育長職務代理者	大室 賢司	会計管理者
21	大石北小学校	午前9時15分	内田みどり	委員	田島 孝一	消防長
22	上平北小学校	午前9時20分	大塚 崇行	委員	北川 茂	環境経済部西貝環境センター所長

(待機)教育総務課主幹(庶務) 生涯学習課主幹(待機)市民生活部次長・環境経済部次長

★中学校 平成30年3月15日(木)実施 平成30年2月5日現在

NO	学 校 名	来賓入場時刻	教 育 委 員 会		市 長 部 局	
1	上尾中学校	午前8時45分	保坂 了	教育総務部長	畠山 稔	市長
2	太平中学校	午前9時05分	今泉 達也	学校教育部長	駒崎 久志	行政経営部長
3	大石中学校	午前9時05分	大塚 崇行	委員	吉澤 彰一	総務部長
4	原市中学校	午前9時20分	石川 孝之	学校教育部次長	田中 貞夫	上下水道部長
5	上平中学校	午前8時53分	細野 宏道	教育長職務代理者	磯越 雄高	環境経済部長
6	西中学校	午前8時50分	岡田 栄一	委員	本橋 宜臣	健康福祉部長
7	東中学校	午前9時05分	池野 和己	教育長	中島 英二郎	市長政策室長
8	大石南中学校	午前8時50分	内田みどり	委員	大室 賢司	会計管理者
9	瓦葺中学校	午前9時15分	中野 住衣	委員	石井 孝浩	市民生活部長
10	南中学校	午前9時05分	伊藤 潔	学校教育部副参事兼学務課長	田島 孝一	消防長
11	大谷中学校	午前9時10分	関 孝夫	教育総務部次長	猿田 善勝	都市整備部長

(待機)指導課長 学務課主幹(教職員担当) (待機)監査委員事務局長・農業委員会事務局長

★東小学校分教室
・東中学校分教室 平成30年3月19日(月)実施

NO	学 校 名	来賓入場時刻	教 育 委 員 会		市 長 部 局	
1	東小学校向原分 教室・東中学校 向原分校	午前9時30分	伊藤 潔	学校教育部副参事兼学 務課長	石川 克美	子ども未来部次長

★平方幼稚園 平成30年3月20日(火)実施

NO	幼 稚 園 名	来賓入場時刻	教 育 委 員 会		市 長 部 局	
1	平方幼稚園	午前9時50分	石川 孝之	学校教育部次長		

平成30年上尾市教育委員会2月定例会 報告事項4

所属名 学校教育部 学務課

<p>件 名</p> <p>平成30年度上尾市立小・中学校入学式及び平方幼稚園入園式教育委員会祝辞予定者について</p>	
<p>内 容 説 明</p> <p>平成30年度 上尾市立小・中学校入学式及び平方幼稚園入園式を下記のとおり実施します。</p> <p>入学式開始時刻の20分前までに、略礼服にて、学校に到着いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、人事異動後に各職員の配置を決定し、異動等があった場合は、新たに着任した者や新たな職となった者が、祝辞を述べていただきます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 入学式・入園式 日時</p> <p>小学校 平成30年4月 9日(月) 午前</p> <p>中学校 平成30年4月 9日(月) 午後</p> <p>幼稚園 平成30年4月11日(水) 午前10時</p> <p>祝辞予定者及び開始時刻等の詳細は、別添のとおり</p>	
添付資料	添付資料名
<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	平成30年度上尾市立小・中学校入学式及び平方幼稚園入園式教育委員会祝辞予定者名簿(案)【7ページ】 祝辞文(案)【8ページ～10ページ】

**平成30年度 上尾市立小・中学校入学式及び平方幼稚園入園式
教育委員会祝辞予定者名簿(案)**

☆小学校 平成30年4月9日(月)

学校名	開始時刻	教育委員会
1 上尾小学校	午前10時15分	教育総務部長
2 中央小学校	午前10時15分	内田みどり 委員
3 大谷小学校	午前11時00分	大塚 崇行 委員
4 平方小学校	午前10時45分	学校教育部副参事兼中学校給食共同調理場所長
5 大石小学校	午前10時35分	教育総務部次長
6 原市小学校	午前11時00分	教育総務部生涯学習課長
7 上平小学校	午前10時30分	教育総務部スポーツ振興課長
8 富士見小学校	午前11時00分	学校教育部指導課主幹
9 尾山台小学校	午前10時50分	教育総務部教育総務課長
10 東小学校	午前10時20分	細野 宏道 教育長職務代理者
11 大石南小学校	午前10時30分	岡田 栄一 委員
12 平方東小学校	午前10時40分	池野 和己 教育長
13 原市南小学校	午前10時30分	学校教育部次長
14 鴨川小学校	午前10時30分	中野 住衣 委員
15 芝川小学校	午前10時30分	教育総務部主席副参事兼図書館副館長
16 瓦葺小学校	午前10時30分	学校教育部学務課主幹(教)
17 今泉小学校	午前10時45分	学校教育部副参事兼指導課長
18 西小学校	午前10時45分	教育総務部図書館長
19 東町小学校	午前11時00分	学校教育部学校保健課長
20 平方北小学校	午前10時50分	教育総務部図書館次長
21 大石北小学校	午前10時50分	学校教育部長
22 上平北小学校	午前10時15分	学校教育部副参事兼学務課長

(待機)教育センター主幹・教育総務課主幹・生涯学習課主幹

☆中学校 平成30年4月9日(月)

学校名	開始時刻	教育委員会
1 上尾中学校	午後2時00分	細野 宏道 教育長職務代理者
2 太平中学校	午後2時00分	内田みどり 委員
3 大石中学校	午後2時20分	池野 和己 教育長
4 原市中学校	午後2時00分	教育総務部次長
5 上平中学校	午後1時30分	中野 住衣 委員
6 西中学校	午後2時00分	学校教育部副参事兼学務課長
7 東中学校	午後1時30分	岡田 栄一 委員
8 大石南中学校	午後2時00分	学校教育部長
9 瓦葺中学校	午後1時30分	大塚 崇行 委員
10 南中学校	午後1時30分	学校教育部次長
11 大谷中学校	午後1時30分	教育総務部長

(待機)指導課長・学務課主幹(教)

☆平方幼稚園 平成30年4月11日(水)

幼稚園名	開始時刻	教育委員会
1 平方幼稚園	午前10時00分	教育総務部次長

*開始時刻の20分前までに、略礼服で学校に到着してください。

祝 辞（平方幼稚園）（案）

平成三十年四月十一日

上尾市教育委員会

よい子の皆さん、御入園おめでとうございます。
今日から皆さんは、平方幼稚園のお友達です。これから毎日、優しい先生方や新しいお友達と一緒に、歌を歌ったり、絵を描いたりします。お庭で元気いっぱい遊ぶこともできます。お友達をたくさん作って、楽しいことを見つけてくださいね。

さて、保護者の皆様、本日は御入園、誠におめでとうございませす。本園は、上尾市で唯一の公立幼稚園です。小学校と隣接しておりますことから、園児と小学生との交流も多く図られております。教職員は、「明るく元気な子、豊かな心の子、進んでやる子」を教育目標に、一丸となって、日々の教育に取り組んでおります。

教育委員会といたしましては、幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものと認識しており、幼稚園と家庭が連携して、「生きる力」の基礎を育み、たくましい子を育てていただきたいと考えております。どうぞ、園長の教育方針と、本園の教育活動に、御理解と御協力をお願いいたします。

教職員の皆様におかれましては、陽だまりのような温かな愛情で、新入園児の健やかな発達と成長を支えてくださるようお願いいたします。

結びに、幼稚園と家庭と地域が一体となって、園児たちを育む中で、実り多く充実した幼稚園の生活を送ることができるよう祈念いたしましたして、祝辞といたします。

祝 辞（小学校）（案）

平成三十年四月九日

上尾市教育委員会

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。

今日から、皆さんは、（ ）小学校の一年生です。小学校での楽しい生活が始まります。（ ）小学校では、国語や算数などの勉強の他に、運動会などの楽しい行事があります。新しいお友達をたくさん作り、仲良く、楽しく過ごしましょう。

そのために、皆さんに魔法の言葉の一つ教えます。それは『あげ・お』です。「あ」は、「あいさつ」。「げ」は「元気に」。「お」は、「大きな声で」です。「あいさつは 元気に 大きな声で」を合言葉に、毎日過（す）と、お友達と一緒にとても楽しく勉強や運動ができ、立派な小学生になることができます。

さて、保護者の皆様、本日は、お子様の御入学、誠におめでとうございます。本日から、九年間にわたる義務教育が始まります。

（ ）小学校では、教職員が一丸となり、全ての子供たちに、確かな学力と豊かな人間性、健やかな体が育まれるよう、全力で指導しております。どうぞ、校長の教育方針と、本校の教育活動に、御理解と御協力をお願いいたします。

教職員の皆様には、いっばいの愛情で新入生を包み、心身ともに健やかに育ててくださるようお願いいたします。

教育委員会では、子供たちの健やかな成長を支援するとともに、学校と家庭・地域が連携した教育活動をすすめております。双方が手を携えて子供たちを見守り、元気なお子様を育てていただきたいと考えております。

結びに、子供たちが、実り多く、充実した学校生活を送ることが出来ますよう祈念いたしました。祝辞といたします。

祝 辞（中学校） （案）

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。

今日から皆さんの中学校生活が始まります。これからの三年間は心と体がとても大きく成長する大切な時期となります。（ ）
中学校で学ぶこと、豊かな人間性を養うこと、体を鍛えていくことなど、一日一日の過ごし方が、皆さんの将来に大きな可能性を拓くことにつながります。

今年から野球のメジャーリーグに挑戦している大谷翔平（おおたに しょうへい）さんは、高校生の時に、球速一六〇キロを記録しました。その後のインタビューで、「少し高めに目標を設定したことがよかったのだと思います。周囲が無理だと言っても気にせず、自分の力を信じて投げ込んだ結果です。」と述べています。

皆さんも、ぜひ中学校生活の中で、自分自身の目標を定め、自分の力を信じ、努力できることを見つけてください。また、仲間や保護者、先生方からの支援をいただきながら充実した学校生活を送り、たくましい中学生になることを期待しております。

さて、保護者の皆様、本日は、お子様の御入学、誠におめでとうございます。中学生の時期は、子供たちが自立に向かって大きく成長する一方、その過程で様々な変化に出会い、親子ともに、戸惑うこともあると存じます。子供たちの健やかな成長のためには、子供としっかりと向き合うことや話し合うこと、そして、学校と家庭とが常に連携を取り合うことが大切です。どうぞ、校長の教育方針と本校の教育活動に御理解と御協力をお願いいたします。

教職員の皆様には、生徒一人一人の能力と個性を豊かに伸ばし、

変化の激しい社会を「生き抜く力」を身に付けさせる教育に尽力させていただきますようお願いいたします。

結びに、学校・家庭・地域が連携する中で、新入生が、安全で充実した学校生活を送ることができますよう祈念いたしまして、祝辞といたします。

平成三十年四月九日

上尾市教育委員会

平成30年上尾市教育委員会2月定例会 報告事項5

所属名 学校教育部 学務課

<p>件 名</p> <p>平成30年度の学校閉庁について</p>	
<p>内 容 説 明</p> <p>学校における負担軽減の取組の一つとして、教職員の休暇取得を促進しているところで、埼玉県教育委員会においては、平成29年度から、会議、研修会等を実施しない「サマーフレッシュウィーク（毎年8月11日～8月16日）」が設定されました。</p> <p>これを受け、上尾市教育委員会では、教職員の夏季における健康増進と休暇促進のため、平成29年度サマーフレッシュウィーク期間中の8月14日（月）～16日（水）の3日間の学校閉庁を実施しました。</p> <p>その結果を受け、今後、学校閉庁を下記のとおり実施いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>(1) 実施期日</p> <p>ア キッズウィーク中の平日 6月第2金曜日（平成30年度は、6月8日（金））</p> <p>イ サマーフレッシュウィーク（8/11～16）期間中の平日 （平成30年度は、8月13日（月）～8月16日（木）の4日間）</p> <p>ウ 埼玉県民の日 （平成30年度は、11月14日（水））</p>	
添付資料	添付資料名
<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	平成28年12月1日付け教小第469号「サマーフレッシュウィーク」の設定について（県教委通知）【12ページ】



教小第469号
平成28年12月1日

各市町村教育委員会教育長 様

埼玉県教育委員会教育長
(公印省略)

「サマーリフレッシュウィーク」の設定について（通知）

県教育委員会では、学校における負担軽減の取組の一つとして、教職員の休暇取得を促進しているところです。一方で、比較的休暇を取得しやすい夏季休業中も県教育委員会主催の研修会等が実施されていることなどから、休暇を取得しづらい現状にあります。

そこで、下記のとおり「サマーリフレッシュウィーク」を設定することといたしました。

つきましては、趣旨を御理解の上、教職員の休暇取得促進及び健康増進を図るために、格段の御配慮をお願いいたします。

記

1 目的

夏季休業中に、原則、県教育委員会主催の教職員を対象とした会議、研修会等を実施しない期間を設定することにより、教職員が休暇等を取得しやすい環境を作り、教職員の健康増進を図る。

2 期間

毎年8月11日から8月16日まで

3 その他

平成29年度から実施する。

担 当 教育局市町村支援部小中学校人事課
人事・学事担当 新保

電 話 048-830-6939

件 名

キッズウィークの実施について

内 容 説 明

国では、大人と子供が向き合う時間を確保するため、地域ごとに「キッズウィーク」を設定し、学校休業日の分散化、有給休暇取得の促進、休日における多様な活動機会の確保の取組を官民一体として推進することを目的として、大人と子供が向き合い休み方改革を進めるための「キッズウィーク」総合推進会議を開催しています。このことを受け、平成30年度から、上尾市立小・中学校で下記のとおり実施します。

記

(1) 実施期日

毎年6月の第2金曜日を休業日とし、3連休を確保する。

平成30年は、6月8日（金）～6月10日（日）

(2) 期日設定の理由

国では、平成30年度から地域ごとに「キッズウィーク」を設定し、学校休業日の分散化、有給休暇取得の促進、休日における多様な活動機会の確保の取組を官民一体として推進することとしている。5月の大型連休以降、7月の海の日（夏季休業直前）までの期間に3連休を確保し、家族で過ごす時間を増やすとともに1学期中の児童生徒の精神的負担を軽減することを目的とする。

(3) 呼称

6月の第2金曜日を「かがやキッズDAY」とする。

添付資料	添付資料名
有 . 無	平成29年9月20日付け事務連絡「大人と子供が向かい合い休み方改革をすすめるための「キッズウィーク」総合推進会議（第1回）資料の送付について（一部抜粋）【14ページ～25ページ】



事 務 連 絡

平成29年9月20日

各市町村教育委員会教育長 }
各 教 育 事 務 所 長 } 様

埼玉県教育局市町村支援部小中学校人事課長

大人と子供が向かい合い休み方改革をすすめるための「キッズウィーク」
総合推進会議（第1回）資料等の送付について

標記の件について、別添写しのとおり、内閣官房副長官補付（文部科学担当）から送付されましたので、お知らせします。

担 当 人事・学事担当 高橋
電 話 048-830-6939



事 務 連 絡
平成29年9月13日

各都道府県「キッズウィーク」事務関係課 御中

内閣官房副長官補付（文部科学担当）

大人と子供が向き合い休み方改革を進めるための「キッズウィーク」
総合推進会議（第1回）資料等の送付について

去る7月18日、安倍内閣総理大臣の御出席の下、菅内閣官房長官を議長とし、関係閣僚や有識者の方々をメンバーとする「大人と子供が向き合い休み方改革を進めるための「キッズウィーク」総合推進会議」が開催されましたので、別添1のとおり本会議における資料及び議事要旨をお送りします。

また、別添2のとおり9月8日の「キッズウィーク」に関する官房長官会見発言録、別添3のとおり本日13日付けで通知されました「学校教育法施行令の一部を改正する政令等の施行について（通知）」（平成29年9月13日付け29文科初第840号）をお送りします。

その他、別添4のとおり「キッズウィーク」の推進に向けた資料、別添5のとおり「キッズウィーク」に関連する平成30年度予算概算要求を取りまとめた資料をお送りします。

つきましては、域内の市区町村、関係団体に周知されるようお願いいたします。

「キッズウィーク」は、地域ごとに学校の夏休みなどの長期休業日を分散化すること等により、大人と子供と一緒に休日を過ごす機会を創出する取組であり、政府としても、この取組が定着するようしっかり取り組んでまいります。各自治体におかれても、地域の実情に応じた取組にするため、検討を進めていただくようお願いいたします。

（参考）

【大人と子供が向き合い休み方改革を進めるための「キッズウィーク」総合推進会議 URL】

http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/actions/201707/18kidsweek.html

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kidsweek/>

【連絡先】

内閣官房副長官補付（文部科学担当）

Tel : 03-3581-5077

文部科学省生涯学習政策局社会教育課

Tel : 03-5253-4111（内線 2973）

文部科学省初等中等教育局教育課程課

Tel : 03-5253-4111（内線 2565）

厚生労働省雇用環境・均等局職業生活両立課

Tel : 03-5253-1111（内線 7915）

経済産業省商務・サービスグループ

クールジャパン政策課

Tel : 03-3501-1750

観光庁観光地域振興部観光資源課

Tel : 03-5253-8925

大人と子供が向き合い休み方改革を進めるための「キッズウィーク」総合推進会議の開催について

〔平成 29 年 7 月 5 日
内閣総理大臣決裁〕

1. 趣旨

大人と子供が向き合う時間を確保するため、地域ごとに「キッズウィーク」を設定し、学校休業日の分散化、有給休暇取得の促進、休日における多様な活動機会の確保の取組を官民一体として推進することを目的として、大人と子供が向き合い休み方改革を進めるための「キッズウィーク」総合推進会議（以下「推進会議」という。）を開催する。

2. 構成等

推進会議の構成は、別紙のとおりとする。ただし、議長は、必要があると認めるときは、関係者に出席を求めることができる。

3. 庶務

推進会議の庶務は、関係行政機関の協力を得て、内閣官房において処理する。

4. その他

前各項に定めるもののほか、推進会議の運営に関する事項その他必要な事項は、議長が定める。

(別紙)

大人と子供が向き合い休み方改革を進めるための「キッズウィーク」総合推進
会議構成員

議長	菅 義偉	内閣官房長官
構成員	加藤 勝信	一億総活躍担当大臣 兼 働き方改革担当大臣
	高市 早苗	総務大臣
	松野 博一	文部科学大臣
	塩崎 恭久	厚生労働大臣
	世耕 弘成	経済産業大臣
	石井 啓一	国土交通大臣
	石澤 義文	全国商工会連合会会長
	神津 里季生	日本労働組合総連合会会長
	榊原 定征	一般社団法人日本経済団体連合会会長
	末松 則子	三重県鈴鹿市長
	田川 博己	一般社団法人日本旅行業協会会長
	田邊 俊治	全国市町村教育委員会連合会会長
	中井 敬三	全国都道府県教育委員会連合会会長
	東川 勝哉	公益社団法人日本PTA全国協議会会長
	牧田 和樹	一般社団法人全国高等学校PTA連合会会長
	三村 明夫	日本商工会議所会頭
	矢島 洋子	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社政 策研究事業本部共生社会室長 主席研究員

平成 29 年 7 月 18 日

大人と子供が向き合い休み方改革を進めるための
「キッズウィーク」総合推進会議運営要領（案）

大人と子供が向き合い休み方改革を進めるための「キッズウィーク」総合推進会議（以下「総合推進会議」という。）の運営については、この運営要領の定めるところによるものとする。

1. 総合推進会議は非公開とし、会議終了後、議事要旨及び総合推進会議で配布された資料を速やかに公表する。ただし、議長が特に必要と認めるときは、議事要旨又は配布資料の全部又は一部を公表しないものとするができる。
2. 総合推進会議終了後、原則として、総合推進会議の事務局が記者ブリーフを行い、議事内容を説明するものとする。

教育再生実行会議 第十次提言、骨太の方針、未来投資戦略 (キッズウィーク関連部分抜粋)

平成29年7月18日(火)
キッズウィーク総合推進会議(第1回)資料3

教育再生実行会議 第十次提言(抜粋)

■自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓く子供を育て、教育の実現に向けた、学校、家庭、地域の教育力の向上(第十次提言)

(平成29年6月1日)

1. 学校、家庭、地域の役割分担と教育力の向上について

(2) 家庭、地域の教育力の向上〔家庭における子供と向き合う時間の確保―地域ごとの学校休業日の分散化〕

○ 家庭教育の充実のためには、家族での旅行やスポーツ、自然体験活動などの機会を通じて、大人と子供が触れ合いながら充実した時間を過ごすことができるようにすることが重要である。

そのため、国、地方公共団体、学校、産業界等は、地域ごとに学校の夏休みなどの長期休業日の一部を学期中の平日に移して設定する学校休業日の分散化の推進や設定した休業日における多様な活動機会の充実に努めるとともに、特に経済関係の行政機関や産業界の団体には、連携・協力して学校休業日に合わせた保護者の有給休暇の取得を強力に促進する。

骨太の方針(抜粋)

■経済財政運営と改革の基本方針

2017

(平成29年6月9日閣議決定)

第2章 成長と分配の好循環の拡大と中長期の発展に向けた重点課題

3. 消費の活性化

(2) 新しい需要の喚起

② 観光・旅行消費の活性化

大人と子供が向き合う時間を確保するため、地域の実情に応じ、教育現場に混乱が生じないよう対応を検討の上、2018年度(平成30年度)から地域ごとに「キッズウィーク」を設定し、学校休業日の分散化、有給休暇取得の促進、休日における多様な活動機会の確保の取組を官民一体として推進する。

未来投資戦略(抜粋)

■未来投資戦略2017 -Society 5.0

の実現に向けた改革

(平成29年6月9日閣議決定)

第2 具体的施策

Ⅲ 地域経済好循環システムの構築

3. 観光・スポーツ・文化芸術

(2) 新たに講ずべき具体的施策

i) 観光

③ すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に(ケ) 休暇改革

・大人と子供が向き合う時間を確保するため、地域の実情に応じ、教育現場に混乱が生じないよう対応を検討の上、来年度から地域ごとに「キッズウィーク」を新たに設定し、学校の夏休みなどの長期休業日の一部を学期中の平日に移して設定する学校休業日の分散化や分散化された学校休業日に合わせた有給休暇取得の促進、休日における多様な活動機会の確保を図るとともに、これらの取組を官民一体となって推進する。

「キッズウィーク」の推進について ～家族や仲間ですっきりまとまった休日を～ (案)

平成28年7月18日(火)
キッズウィーク総合推進会議(第1回)資料4-1

1. 方向性

- ・豊かな人生を送り、子供たちの豊かな心や人間性を育むためには、家族や仲間とともにゆったり休日を過ごすことにより、絆を深めたり、趣味に打ち込んだり、地域行事に参加したりすることが重要であり、1億総活躍社会に向け、働き方改革と表裏一体のものとして、休み方改革を進めることが課題。
- ・有給休暇取得率が低い状況の中、家族などで休日をゆったり過ごすことを促進するため、学校休業日の分散化及びそれに合わせた有給休暇取得促進が必要。
- ・休日の在り方の多様化により、観光需要の平準化による雇用の拡大や地域活性化につながる可能性。

夏休みなどの長期休業日を分散化することで

地域ごとに「キッズウィーク」を新たに設定し、大人と子供が一緒にまとまった休日を過ごす機会を創出 (例えば、親子で一緒に月～金を休みとし9連休に)

2. 対応策

(1) 平成30年度から学校休業日を分散化させます！

法令上の手当てにより、夏休みなど長期休業日から平日に学校休業日を分散化
(休業日の設定状況や工夫事例の周知)

(2) 子供だけでなく、大人もしっかり休めます！

経済団体、企業等に学校休業日に合わせた休暇取得を強く要請
(有給休暇取得率を70%に(20%U/P))

(3) 休みに、多様な活動機会を確保します！

文化・スポーツ団体、企業等に活動機会の確保等を要請
(特に、親子が親しむことができるプログラムが提供できるよう要請)

一体的に推進

(4) これらの取組を官民一体となって推進します！

- ① 大人と子供が向き合い休み方改革を進めるための「キッズウィーク」総合推進会議(国)
(通称：キッズウィーク総合推進会議)
官民による意見交換、調整等
- ② 地域における休み方協議会(仮称)【地域】
地域関係者による、学校休業日設定や休暇促進方針・対策の協議
- ③ 観光ビジョン推進地方ブロック戦略会議WG【地域】
市区町村における取組状況の確認、課題や好事例等の共有
- ④ ロゴマークやキャッチフレーズによる盛り上げ【機運醸成】

「キッズウィーク」について ～人を育てる、社会を変える新たなチャレンジ～（案）

平成28年7月16日（火）
キッズウィーク総合推進会議（第1回）資料4-2

1. キッズウィークとは ⇒学校休業日の分散化と有給休暇取得で大人と子供が共にゆったりとした休日をも！

- 地域ごとに夏休みや冬休みなどの学校の長期休業日から、一部の休業日を他の日に移して休業日を分散化する（キッズウィーク）。学校が休みとなった日に大人も有給休暇を取得し、大人と子供が共に休日を過ごすことを国民運動的に盛り上げていく。
- 平成30年度から、都道府県・市区町村など一定の地域単位で、全国一律・一斉といった形ではなく、地域の実情に応じ、教育現場や企業の取組などを踏まえ、学校休業日の設定をはじめ、多様なやり方で自主的に取組を進めていただくことを想定。国は、地域の取組を支援。

2. キッズウィークにより目指すもの ⇒家庭や地域の教育力の向上と休み方改革をめざし、地域・観光振興も！

- 豊かな人生を送り、子供たちの豊かな心や人間性を育むためには、家族や仲間とともにゆったり休日を過ごし、絆を深めたり、趣味に打ち込んだり、地域行事に参加したりすることが重要である。
- 子供と大人が向き合う時間を確保するため、学校休業日を分散するとともに、その休みに合わせて大人が休みをとり、地域行事や体験活動、旅行など多様な活動を共に行うことにより、家庭や地域の教育力の充実が図られ、地域愛を育てることとなる。同時に、大人についても働き方を見返す契機となる。1億総活躍社会に向け、働き方改革と表裏一体のものととして休み方改革を進め、有給休暇取得率70%の達成を目指す。
- また、休日が多様化することにより、観光需要の平準化による混雑緩和、ハイシーズンの宿泊料金の低廉化と雇用の拡大、地域の活性化に資する。

3. 推進体制

⇒国と地域の取組

- (1) 【国】 官民一体として取り組むため、政府に内閣官房長官を議長とし、関係大臣、関係団体の代表、有識者で構成する「大人と子供が向き合い休み方改革を進めるための「キッズウィーク」総合推進会議」（通称：キッズウィーク総合推進会議）を設置し、意見交換などを行う。
- (2) 【地域】 実施する地域単位ごとに、例えば協議会を設置し、自治体、学校、商工会・商工会議所、NPOなどの関係者が、休業日の設定や活動機会の確保、有給休暇の取得等について協議しつつ検討を進めていくことを想定。また、都道府県内で地域における協議会の連絡会を設け、情報交換、事例の共有を行うことも効果的と思われる。
- (3) 【国・地域】 国の出先機関や自治体などによる「観光ビジョン推進地方ブロック戦略会議WG」により、地域における取組状況の確認、事例の共有等を行う。

4. 政府の具体的取組 ⇒官民連携して環境整備

(1) 法令上の措置による学校休業日の分散化の明確化と周知

今年度中に学校休業日の分散化を促進するための法令上の手当てを講じるとともに、学校現場が混乱しないような手立てを検討する。さらに、次年度の休業日設定や企業における休暇取得の促進等に資するよう全国の休業日分散化の状況を取りまとめるとともに、分散化の工夫事例を公表・周知する。

(2) 有給休暇取得に関する企業への働きかけ

「年次有給休暇取得促進期間（10月）」を中心に、子供たちの休業日に合わせた休暇取得に配慮するよう重点的に周知啓発を実施するとともに、事業主の自主的な取組を促進するための法律に基づく指針の改正を検討。また、産業界における休暇取得の経済的インセンティブ付与の仕組みの導入を目指す。また、公務員（教員を含む）の有給休暇取得も奨励する。

(3) 多様な活動機会の確保要請及び柔軟な宿泊商品の造成

親子でスポーツ・文化等に親しむことができるプログラムの提供、社会教育施設・文化施設の無料開放等が行われるよう、地方公共団体や各種団体に協力を要請する。また、家族が宿泊する際に、人数にかかわらず利用できる適切な料金の宿泊商品の造成を観光業界に促す。

(4) 保護者が休めない家庭の子供への対応

キッズウィークの実施に合わせ、子供の居場所づくり、イベントづくりなど、どうしても保護者が共に休めない家庭の子供への対応について関係機関に要請するとともに必要な支援を行う。

学校休業日の分散化イメージ

※休業日の時期や期間は、地域の実情に応じて設定。

例1: 夏季休業日を短縮し、県民の日と合わせて4連休を創設

6月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3			1	2	3	4	5
4	5	6	7	8	9	10	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30		27	28	29	30	31		

県民の日

これまで夏休みだった期間

例2: 夏季休業日を短縮し、土日等と合わせて、例えば秋に新たな長期休業日を創設

7月							8月							10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	8	9	10	11	12	13	14
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	15	16	17	18	19	20	21
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	22	23	24	25	26	27	28
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31			29	30	31				
30	31																			

新たな長期休暇

これまで夏休みだった期間

学校休業日を工夫している例

■ 秋休みを設定している例

【東京都渋谷区】

既存の3連休と合わせて、5連休の秋休みを設定。

10月5日（木）～10月9日（月）（5日間） ※平成29年度における小中学校の例

■ 地域の発展と歴史を学ぶ機会とするために休業日を設定している例

【山形県鶴岡市】

地域の伝統的なお祭りである天神祭の実施日（5月25日）をふるさと休日として設定。

【神奈川県横浜市】

横浜開港祭が開催される6月2日の開港記念日を休業日として設定。
（あわせて市内の公共施設を子どもに無料開放）

【熊本県人吉市】

10月9日に開催される人吉市内の地方祭（おくんち祭）の日に市立小中学校の休業日を設定。

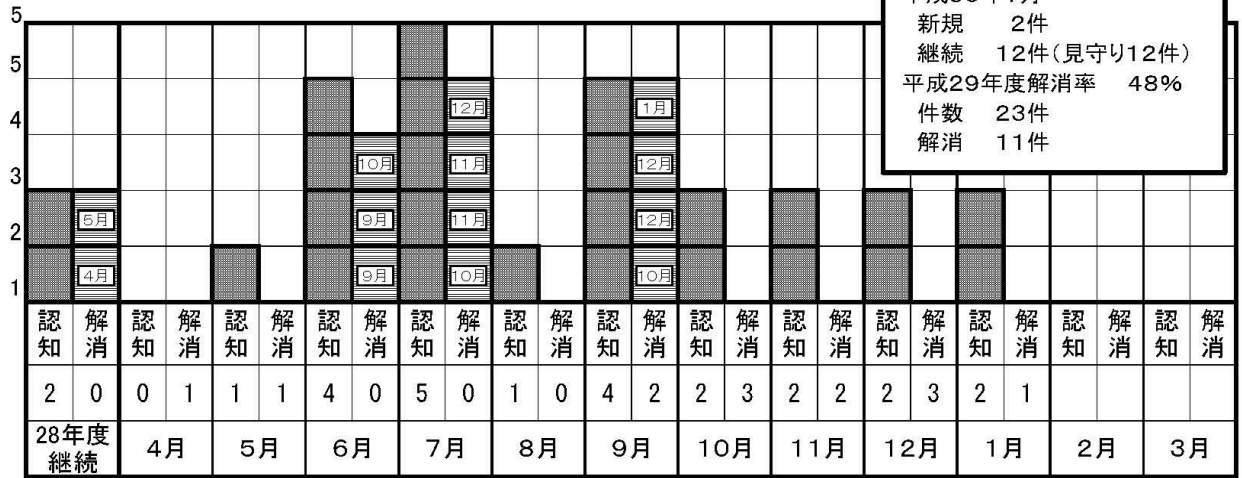
平成30年上尾市教育委員会2月定例会 報告事項7

所属名 学校教育部 指導課

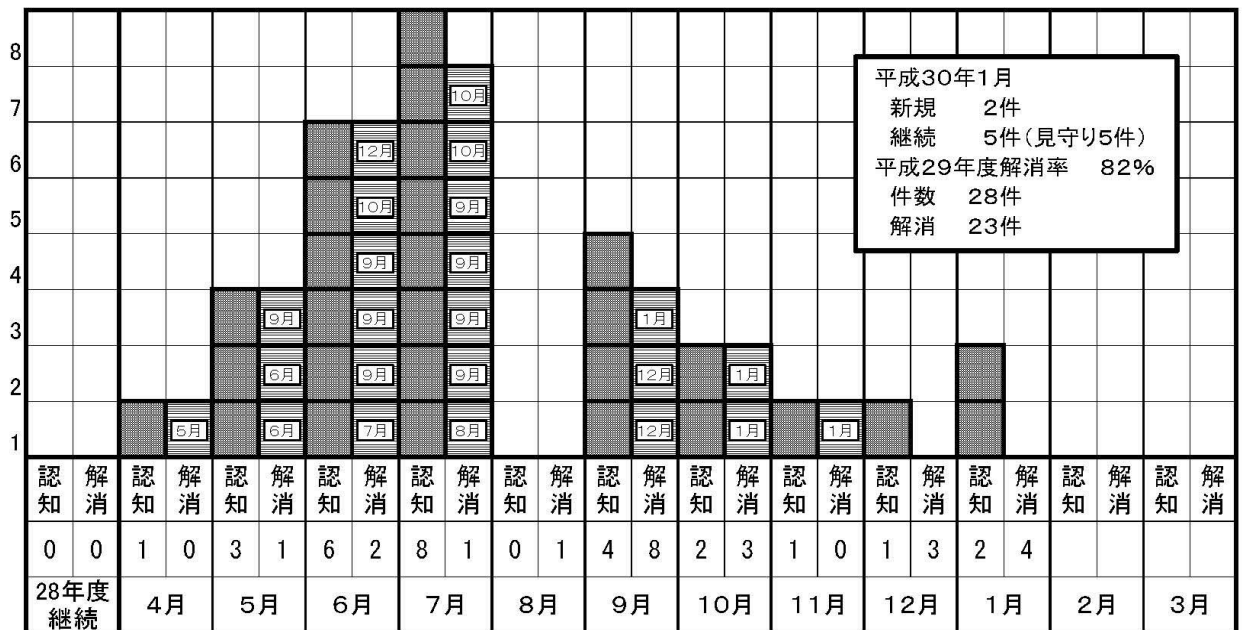
<p>件 名</p> <p>平成30年1月上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果について</p>	
<p>内 容 説 明</p> <p>平成30年1月上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果について、別紙のとおり報告します。</p>	
添付資料	添付資料名
<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果【27ページ】

平成30年1月 いじめに関する状況調査

【小学校】



【中学校】



※ …認知 …解消

平成30年上尾市教育委員会2月定例会 報告事項8

所属名 学校教育部 指導課

<p>件 名</p> <p>平成29年度第2回生徒指導に関する調査結果について</p>	
<p>内 容 説 明</p> <p>平成29年度第2回生徒指導に関する調査結果について、別紙のとおり報告します。</p>	
添付資料	添付資料名
<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	平成29年度第2回生徒指導に関する調査結果【29ページ～30ページ】

平成29年度第2回生徒指導に関する調査結果

1 調査期間
平成29年4月1日～12月31日

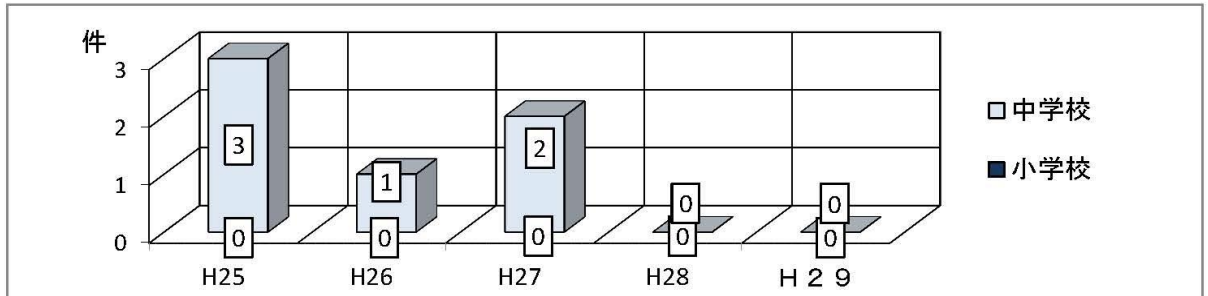
2 調査結果の分析・考察

(1) 暴力行為

暴力行為発生件数（同時期における比較）

【件】

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年増減
小学校	0	0	0	0	0	0
中学校	3	1	2	0	0	0
合計	3	1	2	0	0	0



【考察】

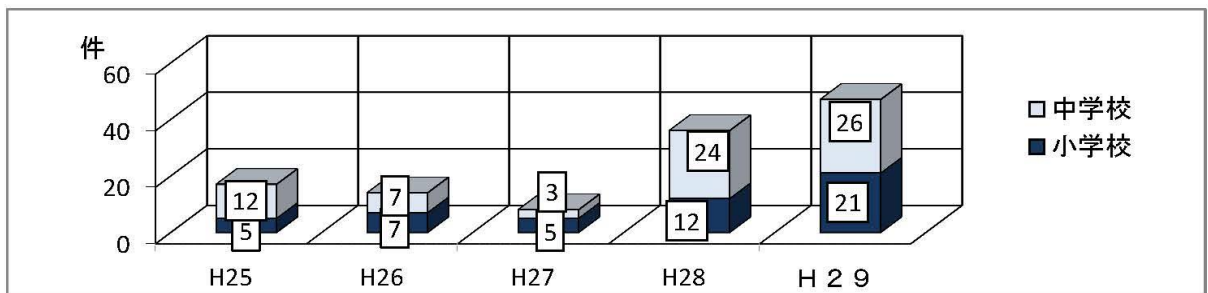
- ア 小学校の暴力行為は、0件である。
- イ 中学校の暴力行為は、0件である。

(2) いじめ

いじめ認知件数（同時期における比較）

【件】

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年増減
小学校	5	7	5	12	21	9
中学校	12	7	3	24	26	2
合計	17	14	8	36	47	11



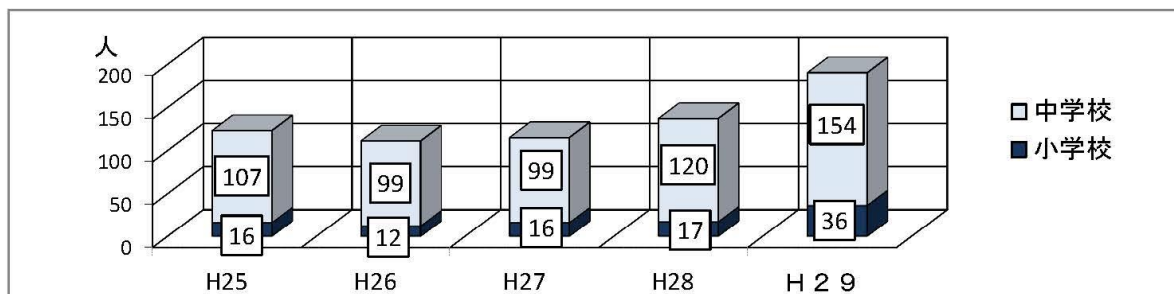
【考察】

- ア いじめの認知件数が昨年度同時期に比べ、小学校で9件増加、中学校で2件増加している。
- イ 第1回調査（1学期終了時）と比較すると、小学校で11件増加、中学校で11件増加している。
- ウ 各学校がいじめの認知を積極的に行っているため、認知件数が増加している。
- エ いじめの解消は、小学校が21件中9件、中学校が26件中19件である。

(3) 不登校児童生徒数（同時期における比較）

【人】

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年増減
小学校	16	12	16	17	36	19
中学校	107	99	99	120	154	34
合計	123	111	115	137	190	53



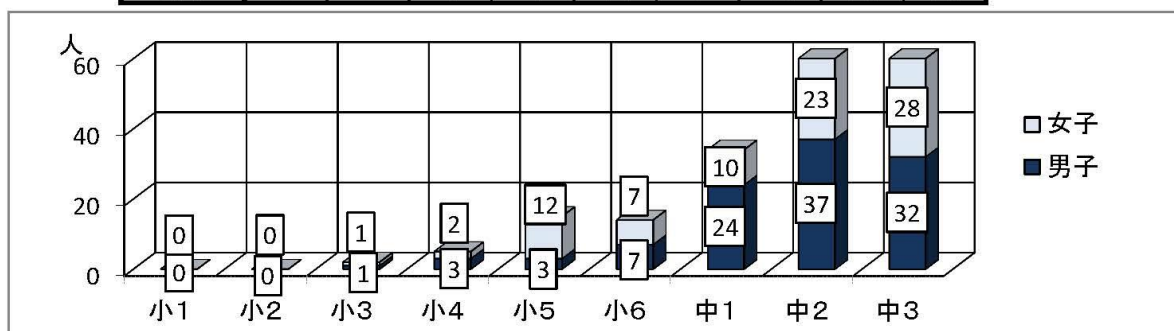
【考察】

- ア 昨年度同時期と比較して、小学校で19人増加、中学校で34人増加している。
- イ 平成26年度より、不登校児童生徒数が年々増加しているが、今年度は特に大きく増加している。
- ウ 第1回調査（1学期終了時）と比較すると、小学校で25人増加、中学校で59人増加している。

学年別不登校児童生徒数

【人】

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
男子	0	0	1	3	3	7	24	37	32
女子	0	0	1	2	12	7	10	23	28



【考察】

- ア 昨年同時期と比較すると、小学校1年生は増減なし、2年生は増減なし、3年生は2人減少、4年生は3人増加、5年生は11人増加、6年生は8人増加している。
- イ 昨年同時期と比較すると、中学校1年生は4人増加、2年生は15人増加、3年生は15人増加となっている。
- ウ 平成28年度小学校6年生は不登校児童が6人だったが、今年度の中学1年生は不登校生が34人となっており、中学生になり28人増加したことになる。平成28年度中学校1年生は不登校生徒が30人だったが、今年度の中学校2年生は不登校生徒が60人となっており、中学校2年生になり30人増加したことになる。

平成30年2月上尾市教育委員会定例会 報告事項9

所属名 学校教育部 指導課

<p>件 名</p> <p>平成29年度上尾市立小・中学校学力調査結果について</p>	
<p>内 容 説 明</p> <p>平成29年度上尾市立小・中学校学力調査結果について、別紙のとおり報告します。</p>	
添付資料	添付資料名
<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	平成29年度上尾市立小・中学校学力調査結果【32～36ページ】

平成29年度

上尾市立小・中学校学力調査結果

(平成29年12月6日実施)



上尾市教育委員会

I 学力調査結果の概要

1 調査の趣旨

本市児童生徒の学力の実態を把握するとともに、課題を明らかにして学習指導の改善を図ることにより、確かな学力を育成する。

2 調査対象

小学校 2. 3. 4. 5. 6年

中学校 1. 2年

3 調査期日

平成29年12月6日（水）

4 教科及び調査時間

小学校：第2学年～第6学年 国語（40分）、算数（40分）

中学校：第1学年・第2学年 国語（45分）、数学（45分）、英語（45分）

※ 出題範囲は、当該学年で学習した内容

※ 小学校第5学年、中学校第2学年で質問紙調査を実施

5 使用検査紙

T K式領域別標準学力検査（田中教育研究所編）

6 調査人数

	国語		算数・数学		英語	
	調査人数	実施率(%)	調査人数	実施率(%)	調査人数	実施率(%)
小学校	9,381	97.3	9,379	97.3	—	—
中学校	3,636	95.1	3,638	95.2	3,634	95.1
合計	13,017	96.7	13,017	96.7	3,634	95.1

Ⅱ 学力調査結果の概要

〔表の見方〕 到達すべき目標値50.0(全国平均)よりどれだけ高いか低いかを表している。

【小学校】

1 平成18年度～平成29年度の同学年における比較

	学校全体	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
平成29年度	50.0	49.2	49.2	50.1	50.5	50.8
平成28年度	51.9	*	50.4	51.6	53.7	52.2
平成27年度	51.4	*	50.8	51.3	51.9	51.6
平成26年度	51.8	*	51.4	51.7	52.3	51.7
平成25年度	51.9	*	51.5	51.6	52.5	51.9
平成24年度	51.8	*	51.6	51.2	51.9	52.6
平成23年度	52.4	*	52.7	52.4	51.9	52.8
平成22年度	52.2	*	51.9	51.7	53.3	51.8
平成21年度	52.5	*	52.2	52.2	53.1	52.7
平成20年度	51.9	*	51.4	52.0	51.3	52.7
平成19年度	51.6	*	51.4	51.5	51.5	51.9
平成18年度	51.1	*	50.7	51.5	50.7	51.4

2 平成26年度～平成29年度と同グループにおける比較

	第2学年	第3学年	第3学年→第4学年	第3学年→第5学年	第3学年→第6学年
平成29年度	49.2	49.2	50.1	50.5	50.8
平成28年度	*	*	50.4	51.6	53.7
平成27年度	*	*	*	50.8	51.3
平成26年度	*	*	*	*	51.4

【中学校】

1 平成18年度～平成29年度の同学年における比較

	学校全体	第1学年	第2学年	第3学年
平成29年度	51.9	51.7	52.1	*
平成28年度	51.2	51.9	51.0	50.7
平成27年度	50.6	49.8	50.7	51.2
平成26年度	50.5	50.0	50.8	50.8
平成25年度	50.3	50.3	49.8	50.8
平成24年度	50.3	48.9	51.7	50.4
平成23年度	50.7	49.9	51.2	51.0
平成22年度	51.0	51.1	51.0	50.9
平成21年度	50.9	51.4	50.5	50.9
平成20年度	50.9	51.8	50.7	50.3
平成19年度	51.0	51.3	50.9	50.8
平成18年度	51.2	51.2	51.3	51.0

2 平成23年度～平成29年度と同グループにおける比較

	小・第3学年→中・第1学年	小・第3学年→中・第2学年	小・第3学年→中・第3学年
平成29年度	51.7	52.1	*
平成28年度	52.2	51.9	51.0
平成27年度	51.9	51.6	49.8
平成26年度	51.7	52.3	51.7
平成25年度	51.5	51.6	52.5
平成24年度	*	51.6	51.2
平成23年度	*	*	52.7

Ⅲ 学校別・学年別調査結果の概要

〔表の見方〕

○小学校22校の学校全体と各学年の標準得点を数値の高い順に示した。

○同じ行の数値が、すべて同じ学校のものであるとは限らない。

【小学校】（国語、算数の平均）

学年 順位	学校全体	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
1	54.4	52.3	54.6	53.6	57.0	58.1
2	52.6	52.0	52.0	53.0	54.1	55.0
3	52.2	52.0	51.3	52.1	53.8	53.9
4	51.3	51.7	51.2	51.9	52.5	53.6
5	51.1	51.3	50.2	51.9	52.3	53.2
6	50.6	50.7	49.9	51.8	51.8	52.6
7	50.5	50.3	49.7	51.4	51.0	51.9
8	50.4	50.0	49.7	50.8	50.8	51.6
9	50.3	50.0	49.3	50.6	50.4	51.4
10	50.2	49.9	49.2	50.4	50.4	51.4
11	50.1	48.5	49.0	50.3	50.2	51.4
12	49.5	48.4	48.9	50.0	49.6	50.2
13	49.3	48.3	48.6	49.3	49.5	50.2
14	49.2	48.2	48.5	49.2	49.4	49.4
15	49.1	48.0	48.3	49.1	49.3	49.3
16	48.8	47.8	47.6	48.9	49.3	49.3
17	48.7	47.5	47.1	48.7	49.3	48.7
18	48.4	47.4	46.9	48.5	49.1	48.4
19	47.6	47.4	46.7	47.9	48.8	48.3
20	47.5	47.2	46.6	47.2	48.5	47.8
21	47.3	47.0	45.6	46.8	47.4	45.1
22	47.0	44.6	44.3	46.5	44.9	44.7
上尾市全体	50.0	49.2	49.2	50.1	50.5	50.8

〔表の見方〕

○中学校 11 校の学校全体と各学年の標準得点を数値の高い順に示した。

○同じ行の数値が、すべて同じ学校のものであるとは限らない。

【中学校】（国語、数学、英語の平均）

学年 順位	学校全体	第1学年	第2学年
1	54.8	54.9	54.7
2	52.9	53.2	52.7
3	52.3	52.8	52.6
4	52.2	52.8	52.4
5	52.1	52.1	52.4
6	51.8	51.0	52.1
7	51.6	51.0	51.9
8	51.4	50.9	51.9
9	51.1	49.8	51.4
10	47.9	48.1	48.6
11	47.9	47.3	47.5
上尾市全体	51.9	51.7	52.1

※平成 30 年 2 月 20 日～3 月 19 日まで掲載した表に間違いがあったので、正しい表に差し替えました。（平成 30 年 3 月 20 日）

<p>件 名</p> <p>上尾市学校運営協議会の設置について</p>	
<p>内 容 説 明</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第47条の6に規定する学校運営協議会の設置について報告します。</p> <p>上尾市学校運営協議会について</p> <p>(1) 設置計画 平成30年度 先行実施3校（上尾小学校、東町小学校、上尾中学校） 平成31年度 全校実施</p> <p>(2) 委員について ア 任 期 1年とし、再任することができる。 イ 身 分 上尾市特別職の非常勤職員 ウ 報 酬 年額5,000円</p> <p>(3) 委員の構成 ア 委員の人数 12名以内 イ 委員の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域（8名以内） 保護者（PTA代表、おやじの会代表、子ども会代表など） 地域住民（区長、民生委員、児童委員、学校開放委員など） 地域学校協働活動推進員、学校の運営に資する活動を行う者 （学校応援団コーディネーター） 学識経験者（大学教授、元校長 など） ・学校（4名以内） 教頭、主幹教諭・教務主任、地域連携担当教員 など 	
添付資料	添付資料名
<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	上尾市学校運営協議会の設置について【38ページ】

上尾市学校運営協議会の設置について

1 上尾市学校運営協議会について

(1) 設置計画

- 平成30年度 先行実施3校配置
上尾市立上尾小学校
上尾市立東町小学校
上尾市立上尾中学校
- 平成31年度 全校設置

(2) 委員について

ア 任期

1年とし、再任することができる。

イ 身分

上尾市特別職の非常勤職員

ウ 報酬

年額5,000円

(3) 委員の構成

ア 委員の人数

12名以内

イ 委員の構成

・地域（8名以内）

保護者（PTA代表、おやじの会代表、子ども会代表 など）

地域住民（区長、民生委員、児童委員、学校開放委員、卒業生 など）

地域学校協働活動推進員、学校の運営に資する活動を行う者（学校応援団
コーディネーター）

学識経験者（大学教授、元校長 など）

・学校（4名以内）

教頭、主幹教諭・教務主任、地域連携担当職員 など

平成30年2月上尾市教育委員会定例会 報告事項11

所属名 学校教育部 学校保健課

<p>件 名</p> <p>平成29年度インフルエンザ様疾患による学級閉鎖・短縮授業等の状況について</p>	
<p>内 容 説 明</p> <p>インフルエンザ様疾患による学級閉鎖・短縮授業等の状況について、別紙のとおり報告します。</p>	
添付資料	添付資料名
<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	平成29年度インフルエンザ様疾患による学級閉鎖・短縮授業等の状況について (当日配布)